



2023年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年3月17日

上場会社名 株式会社 Link-U 上場取引所 東
コード番号 4446 URL <https://www.link-u.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松原 裕樹
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 志村 優太 TEL 03(6260)9279
四半期報告書提出予定日 2023年3月17日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年7月期第2四半期の連結業績（2022年8月1日～2023年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年7月期第2四半期	1,571	55.6	227	115.6	200	108.5	95	59.0
2022年7月期第2四半期	1,009	47.8	105	△15.2	96	△18.3	60	△24.3

(注) 包括利益 2023年7月期第2四半期 92百万円 (64.3%) 2022年7月期第2四半期 56百万円 (△32.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年7月期第2四半期	6.77	6.72
2022年7月期第2四半期	4.26	4.23

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年7月期第2四半期	3,697	2,199	58.3
2022年7月期	2,860	2,130	71.9

(参考) 自己資本 2023年7月期第2四半期 2,156百万円 2022年7月期 2,057百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年7月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年7月期	-	0.00	-	-	-
2023年7月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年7月期の連結業績予想（2022年8月1日～2023年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,890	27.0	251	113.9	186	116.1	84	150.0	5.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年7月期2Q	14,132,700株	2022年7月期	14,132,700株
② 期末自己株式数	2023年7月期2Q	68株	2022年7月期	68株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年7月期2Q	14,132,632株	2022年7月期2Q	14,131,315株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、決算短信（添付資料）3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「世の中の課題を技術で解決する」という経営理念のもと、自社設計のオリジナルサーバーを基軸としたデータ配信と、そのデータを適切に蓄積・分析・処理するAIソリューションを併せてワンストップで提供するサーバープラットフォームビジネスを展開しております。その中で培ったサーバーインフラ技術、データ処理技術及びコンテンツ処理技術等を強みとして、事業規模を拡大してまいりました。

当社グループの事業領域である情報通信産業は、総務省発行の「令和4年版情報通信白書」によると、2020年時点で名目GDP51.0兆円となっており、全産業の9.6%を占めております。

当社グループが注力する電子書籍市場につきまして、2021年度の市場規模は5,510億円と推計され、2020年度の4,821億円から689億円(14.3%)増加しております。2021年度以降の日本の電子出版市場は今後も拡大基調で、2026年度には8,000億円程度になると予測されております(インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告2022」)。

このような経営環境の中、当社グループは、リカーリングサービス及び初期開発・保守開発サービスにおいて、既存サービスの収益力拡大及び新規サービスのリリースに注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,571,270千円(前年同期比155.6%)、営業利益227,759千円(前年同期比215.6%)、経常利益200,716千円(前年同期比208.5%)、親会社株主に帰属する四半期純利益95,695千円(前年同期比159.0%)となりました。

なお、当社グループはインターネットサービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。サービス別の状況は、次のとおりであります。

(リカーリングサービス)

「リカーリングサービス」は、レベニューシェア収益及び月額固定収益(サブスクリプション)で構成されております。

当第2四半期連結累計期間においては、株式会社集英社と共同運営しているマンガアプリ「ゼブラック」に集英社公式書店サービスが統合され好調に伸長し、また、自社プロダクトである地震予測AIサービス「ゆれしる」も販売チャネルの開拓により成長軌道に乗っております。

この結果、リカーリングサービスの売上高は1,437,262千円(前年同期比175.9%)となりました。

(初期開発・保守開発サービス)

「初期開発・保守開発サービス」は、リカーリングサービス案件獲得のための受託開発を提供するサービスです。取引先の新規サービス立ち上げ時、既存サーバーからの乗り換え時に、当社がその後のサービス保守運用も見据えたサーバープラットフォームやアプリケーション等をワンストップで提供します。

当第2四半期連結累計期間においては、海外向けマンガアプリを含む複数のサービスを開発いたしました。

この結果、初期開発・保守開発サービスの売上高は134,008千円(前年同期比69.6%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は3,697,591千円となり、前連結会計年度末と比較して837,167千円の増加となりました。

その主な要因は、現金及び預金の増加498,706千円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は1,498,163千円となり、前連結会計年度末と比較して768,498千円の増加となりました。

その主な要因は、長期借入金の増加593,400千円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間における純資産合計は2,199,427千円となり、前連結会計年度末と比較して68,669千円の増加となりました。

その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期利益純利益計上に伴い利益剰余金が95,695千円増加したためであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、主に長期借入れによる収入500,000千円及び新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加65,357千円により、前連結会計年度末と比較して498,706千円増加し、1,422,668千円（前連結会計年度末923,961千円）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は30,872千円（前年同期は78,190千円の獲得）となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上172,898千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果支出した資金は90,757千円（前年同期は18,157千円の支出）となりました。その主な要因は、投資有価証券の取得による支出72,450千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は493,490千円（前年同期は139,829千円の支出）となりました。その主な要因は、長期借入れによる収入500,000千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年9月14日に公表した連結業績予想の数値について、新型コロナウイルス感染症の拡大により、様々な影響が予想されますが、現状において、当社グループの事業や業績への過大な影響はみとめられておりません。

2023年7月期の業績予想については2022年9月14日に公表した連結業績予想を据え置き、今後の状況の変化により、通期の連結業績予想に修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	923,961	1,422,668
売掛金及び契約資産	538,186	752,844
貯蔵品	691	622
その他	324,669	384,311
貸倒引当金	△4,529	△1,317
流動資産合計	1,782,981	2,559,128
固定資産		
有形固定資産	174,796	151,794
無形固定資産		
のれん	239,174	256,923
その他	51,885	45,559
無形固定資産合計	291,059	302,482
投資その他の資産		
投資有価証券	452,004	494,328
その他	159,085	189,139
投資その他の資産合計	611,089	683,467
固定資産合計	1,076,945	1,137,745
繰延資産	496	717
資産合計	2,860,423	3,697,591
負債の部		
流動負債		
未払費用	371,257	454,548
1年内返済予定の長期借入金	—	27,960
未払法人税等	30,568	82,507
賞与引当金	7,610	23,734
その他	320,229	316,013
流動負債合計	729,665	904,763
固定負債		
長期借入金	—	593,400
固定負債合計	—	593,400
負債合計	729,665	1,498,163
純資産の部		
株主資本		
資本金	476,567	476,567
資本剰余金	362,660	368,469
利益剰余金	1,196,515	1,292,210
自己株式	△135	△135
株主資本合計	2,035,607	2,137,111
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	21,860	19,268
その他の包括利益累計額合計	21,860	19,268
新株予約権	420	420
非支配株主持分	72,870	42,627
純資産合計	2,130,758	2,199,427
負債純資産合計	2,860,423	3,697,591

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年8月1日 至 2022年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)
売上高	1,009,533	1,571,270
売上原価	333,805	754,608
売上総利益	675,727	816,661
販売費及び一般管理費	570,075	588,901
営業利益	105,652	227,759
営業外収益		
受取利息	5	78
業務受託料	518	—
助成金収入	—	9,799
その他	460	1,786
営業外収益合計	984	11,664
営業外費用		
支払利息	—	1,900
為替差損	304	2,846
持分法による投資損失	10,072	27,533
暗号資産評価損	—	6,244
その他	—	182
営業外費用合計	10,376	38,708
経常利益	96,259	200,716
特別利益		
補助金収入	—	5,960
特別利益合計	—	5,960
特別損失		
固定資産圧縮損	—	4,276
段階取得に係る差損	—	29,501
特別損失合計	—	33,777
税金等調整前四半期純利益	96,259	172,898
法人税等	45,593	78,024
四半期純利益	50,666	94,874
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,513	△820
親会社株主に帰属する四半期純利益	60,179	95,695

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年8月1日 至 2022年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)
四半期純利益	50,666	94,874
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	5,499	△2,592
その他の包括利益合計	5,499	△2,592
四半期包括利益	56,165	92,282
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	65,679	93,102
非支配株主に係る四半期包括利益	△9,513	△820

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年8月1日 至 2022年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	96,259	172,898
減価償却費	26,082	39,296
のれん償却額	14,495	16,192
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	209	△3,211
賞与引当金の増減額 (△は減少)	20,351	16,124
受取利息	△5	△78
支払利息	—	1,900
持分法による投資損益 (△は益)	10,072	27,533
段階取得に係る差損益 (△は益)	—	29,501
暗号資産評価損益 (△は益)	—	6,244
補助金収入	—	△5,960
固定資産圧縮損	—	4,276
売上債権の増減額 (△は増加)	△74,859	△193,152
棚卸資産の増減額 (△は増加)	18,911	69
長期前払費用の増減額 (△は増加)	—	△34,938
前払費用の増減額 (△は増加)	△14,280	43,511
未払金の増減額 (△は減少)	△26,855	△9,610
未払費用の増減額 (△は減少)	7,333	69,605
未払消費税等の増減額 (△は減少)	28,298	25,938
その他	△19,303	△135,231
小計	86,711	70,911
利息の受取額	4	4
利息の支払額	—	△1,989
補助金の受取額	—	5,960
法人税等の支払額	△8,525	△44,647
法人税等の還付額	—	632
営業活動によるキャッシュ・フロー	78,190	30,872
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△5,506	△72,450
有形固定資産の取得による支出	△4,255	△8,209
有形固定資産の売却による収入	—	96
無形固定資産の取得による支出	△8,397	△8,834
貸付金の回収による収入	—	660
敷金及び保証金の回収による収入	2	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△2,020
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,157	△90,757
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	170	—
非支配株主からの払込みによる収入	—	9,800
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	—	△16,310
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△140,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△139,829	493,490
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△255
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△79,796	433,348
現金及び現金同等物の期首残高	1,041,742	923,961
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	65,357
現金及び現金同等物の四半期末残高	961,946	1,422,668

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

(連結の範囲又は持分法の適用範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、持分法適用関連会社であった株式会社Brightech及び同社の100%子会社であるバリューコンサルティング株式会社は実質支配力基準に基づき子会社となったため連結の範囲に含めておりません。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、株式会社Brightechは実質支配力基準に基づき子会社となったため、持分法の適用対象から除いております。

第1四半期連結会計期間より、株式会社Studio Moon6をStudio Boom Co.,Ltdと共同出資にて設立し、持分法適用会社の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

当社グループは、インターネットサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。